

ヒメノキシノブ

Lepisorus onoei (Franch. et Savat.) Ching

ウラボシ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地が稀である。(現況:RO)

形態

単葉で線状形、その先端は円頭、葉長は3~10cm、葉質は革状草質。

国内分布

北海道南部、本州、四国、九州(屋久島以北)。

県内分布

中能登区。

生態など

常緑生の着生植物、繁殖は根茎と孢子による。孢子は初冬に熟し始め風散布による。

生育環境

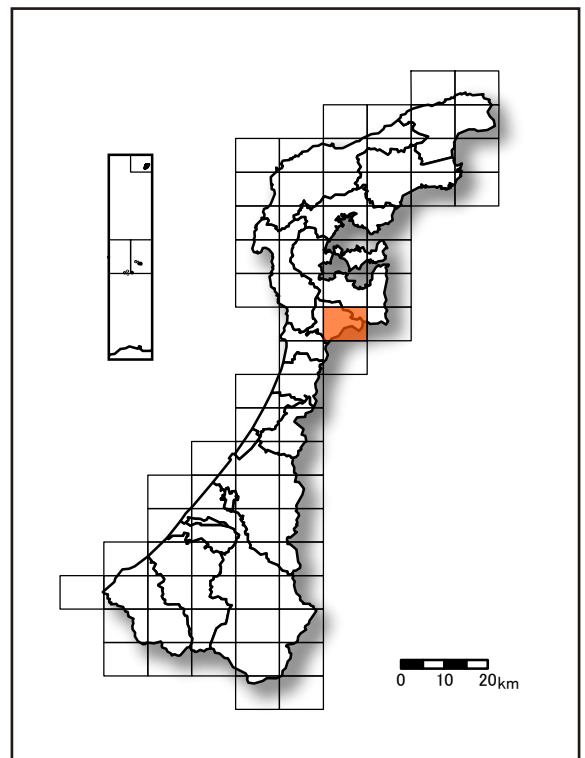
山地の樹上や岩上などに生育する。

危険要因

森林伐採、自然遷移、自然災害。



林 二良・2004年10月17日・中能登



県内の分布